

JET 活躍の現場から



ラグビーを通じた国際交流 —— 佐賀県

フィジーからの SEA を招致

SEA（スポーツ国際交流員）の出身国であるフィジーにおける国民的スポーツであるラグビーを接点に、佐賀県におけるラグビーの競技力の向上、ラグビーを通じた国際交流を推進していくことを目的として2017年から招致しています。また、ラグビーの楽しさを広く県民へ伝えることにより、ラグビー人口の拡大、さらにジュニア世代の有望選手発掘のきっかけとなるよう活動しています。県内に7つあるジュニアラグビークラブや県内中学（1校）・高校（2校）のラグビー部巡回指導を中心に活動しており、各チームを月に1～2回程度回ることを目標としています。最初の訪問時に視察をし、各チームに沿った練習メニューを組み立て、2回目からはそのメニューをトレーニングに取り入れています。各チームのコーチの普段の指導に加えて、SEA 独自に作成した練習メニューにより、生徒達が楽しく、かつ、ラグビーの技術強化に役立つ指導をしています。

SEA の経験を活かした指導

SEA は長年にわたり、自国の小中学生を対象としたラグビーの指導の経験があり、その豊富な指導実績と知識に基づき、それぞれの学年や生徒の特性に即した細やかな指導ができます。幼年の子供達には、ゲーム感覚でボール遊びから始め、徐々にラグビーの楽しさを分かっているもらい、小学生には接触の少ない安全な練習を心がけ、中学生には基礎をしっかり教え、高校生に対してはそれぞれのスキルをさらに向上させるような指導をしています。

生徒達は普段のルーチン練習にはない新鮮な練習メニューを楽しみながら活動しています。SEA の指導を通して、日本とは違った視点でのラグビーの捉え方、コミュニケーションを常に取りながら、かつ、楽しくプレーをするという事の大切さに気づき、日頃の練習で意識することによってこれまで以上のモチベーションで練習に取り組んでいます。



ジュニアラグビークラブでの指導風景（中央が SEA）



高校ラグビー部での指導風景（前列が SEA）



ラグビースクールでの指導風景（中央が SEA）